

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		効率的・効果的な事業運営						予算事業名		－			
予 算 科 目		会計	XX	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	地方公営企業法、水道法			
				XX	XX	XX	XXXX	経常経費					
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業			
		地球環境にやさしいまちづくり											
		安全・安心な水道水の安定供給						担当課係等		水道課			
事業期間		継続 (平成18年度～ 年度)											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
水道料金検針徴収業務及び給水装置関連業務の効率的・効果的な運営により、給水収益の確保及び水道利用者へのサービスの向上を図る。							人件費削減、業務の効率化、収納率の向上等を目的に平成18年度から水道料金検針徴収業務委託の民間委託を開始し、その後、他事業体の動向をふまえ給水装置関係業務委託についても、人件費削減、業務の効率化等を目的に、平成26年度から民間委託を開始した。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
・水道料金検針徴収業務、給水装置関連業務の民間委託。 ・水道料金システムの民間委託。							水道利用者、指定給水装置工事事業者						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							平成14年度の水道法改正により第3者委託制度が創設され、各水道事業体では、民間委託や広域化が進んできている。現在は、料金改定などにより純利益は確保できているものの、人口減少等による給水収益の減少や施設の老朽化・耐震化対策により収支がひっ迫することが予想される。今後、さらに民間に任せられる部分は委託し、業務の効率化を図るとともに経費削減を進め、施設の老朽化・耐震化対策のための資金を確保することが重要である。						
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】					
・水道料金検針徴収業務、給水装置関連業務の民間委託。 ・水道料金システムの民間委託。				・水道料金検針徴収業務、給水装置関連業務の民間委託。 ・水道料金システムの民間委託。				・水道料金検針徴収業務、給水装置関連業務の民間委託。 ・水道料金システムの民間委託。					

■事業費

		R02年度	R03年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	57,343	55,937			
	一般財源	0	0			
歳入計（千円）		57,343	55,937			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	12 委託料	57,343	55,937			
歳出計（千円）（A）		57,343	55,937			
伸び率（％）			-2.45			
備考	予算書 391 ページ					
	第6次結城市総合計画 78 ページ					

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	滞納整理	回	目標	24.00	24.00	24.00
			実績	24.00	0.00	0.00
	給水装置工事申込	件	目標	400.00	400.00	400.00
			実績	349.00	0.00	0.00
成果 指標	収納率	%	目標	99.99	99.99	99.99
			実績	98.58	0.00	0.00
	給水装置工事検査合格率	%	目標	100.00	100.00	100.00
			実績	100.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	人口減少等の影響により給水収益の減少が見込まれるなか、収益の確保及び経費削減を進める上で民間委託する必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	行政、民間両方で可能な事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	給水収益の確保及び人件費の削減を図るためには、民間委託をすることは妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	導入前と比較して、収納率が向上し、人員も削減され効率性は向上している。今後は、内容の見直し等により更に効率性を高めていく必要がある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全ての水道利用者に対し、サービスに偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	導入前と比較して、収納率が向上し、人員も削減され成果は向上している。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	支払督促・停水措置などにより滞納整理はしているものの、ライフラインとして重要であることから、目標達成に関しては厳しい状況である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
民間委託をしたことにより、収納率が向上し、人員も5名削減されており、非常に効果が高い事業である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
収納業務については、高額滞納者や市外転出者等に向けてより一層の徴収強化を図り、収納率の目標達成に向けて事業を実施していく。 また、事業全体としては、包括委託等を実施することにより、コスト削減を図り、その分を施設更新に充てることにより、引き続き安全安心な水道水を利用者に提供することが望まれる。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 現在、民間委託している水道料金検針・徴収業務委託内容について適宜見直しを行い、収納率の向上・収益の増が見込めるよう滞納整理の強化、無断使用者の調査を行うとともにコスト削減に努め、更なる事業の効率化を図っていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	